

## 第6章 施策の実施体制と推進体制

### 6.1 関係者の役割分担

松原市水道事業の将来を見据え、新水道ビジョンで示す具体的方策を実施するためには、関係者がそれぞれの状況や立場に応じて、適正に役割分担することが必要です。

本市新水道ビジョンでは、厚生労働省が公表している新水道ビジョンの関係者の役割に沿って役割分担していきます。

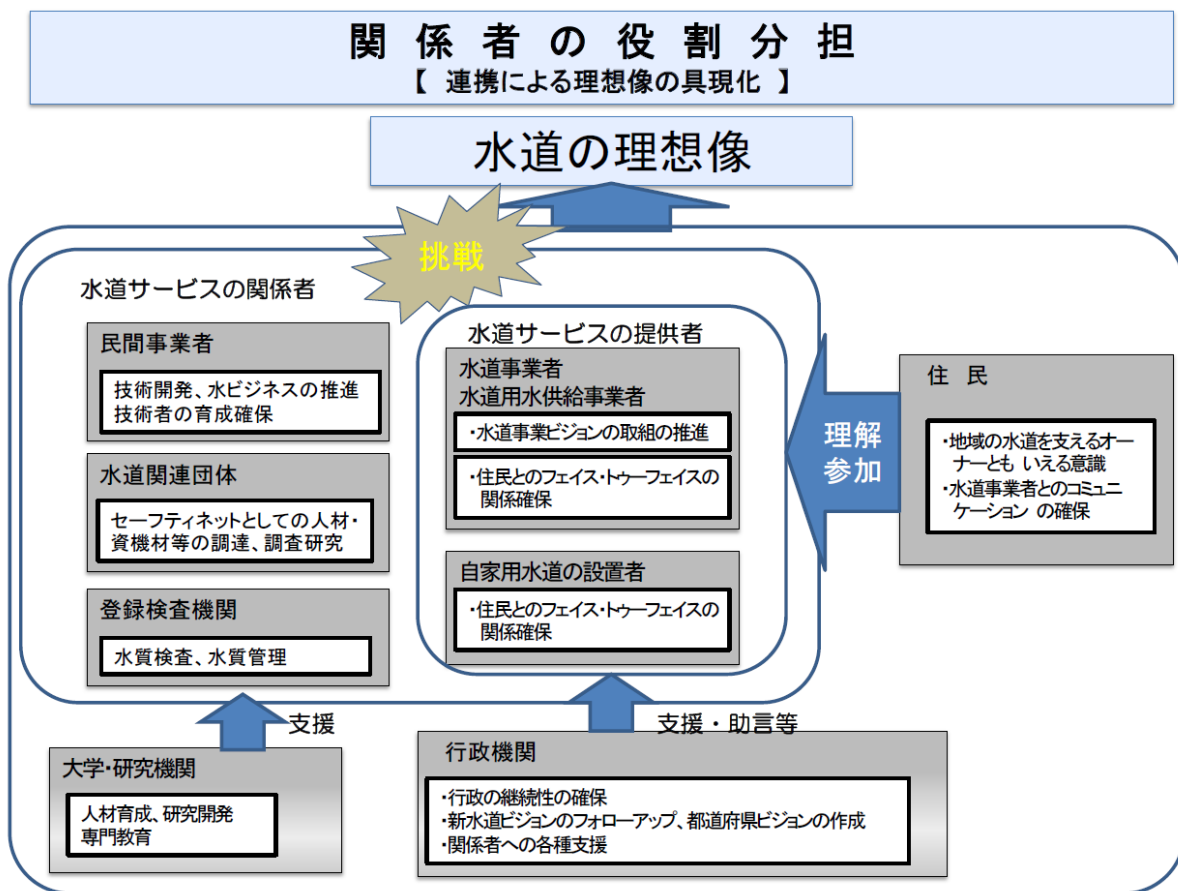


図 6.1.1 関係者との役割分担（出典：「新水道ビジョン」（厚生労働省））

## 6.2 水道ビジョンの推進とフォローアップ

本市新水道ビジョンでは、「市民のための水道～安全で安心できる豊かな生活を次世代へ持続させる水道～」を基本理念のもと、3つの基本方針に則り、施設規模の最適化などの施策を行い、経営状況の可視化を踏まえて、事業を推進していきます。

その事業を確実にかつ円滑に実施していくために、下記に示す点に留意して運営を行っていきます。

### ◆事業実施効果の把握

本市新水道ビジョンは、令和2年度から令和11年度までを計画期間としていますが、計画の進捗状況を定期的に確認することが必要です。

さらに、進捗状況と併せて、事業の実施効果を把握することが重要であり、施策の実施結果を確認、評価しながら、適宜、改善していきます。

### ◆情報公開

今後の情報公開として、ホームページ上で事業計画や事業実施効果等を公表し、より透明性のある事業運営を行っていきます。

水道事業のレベルアップに向け、さらなる改善と着実に効果的な取り組みを進めていきます。

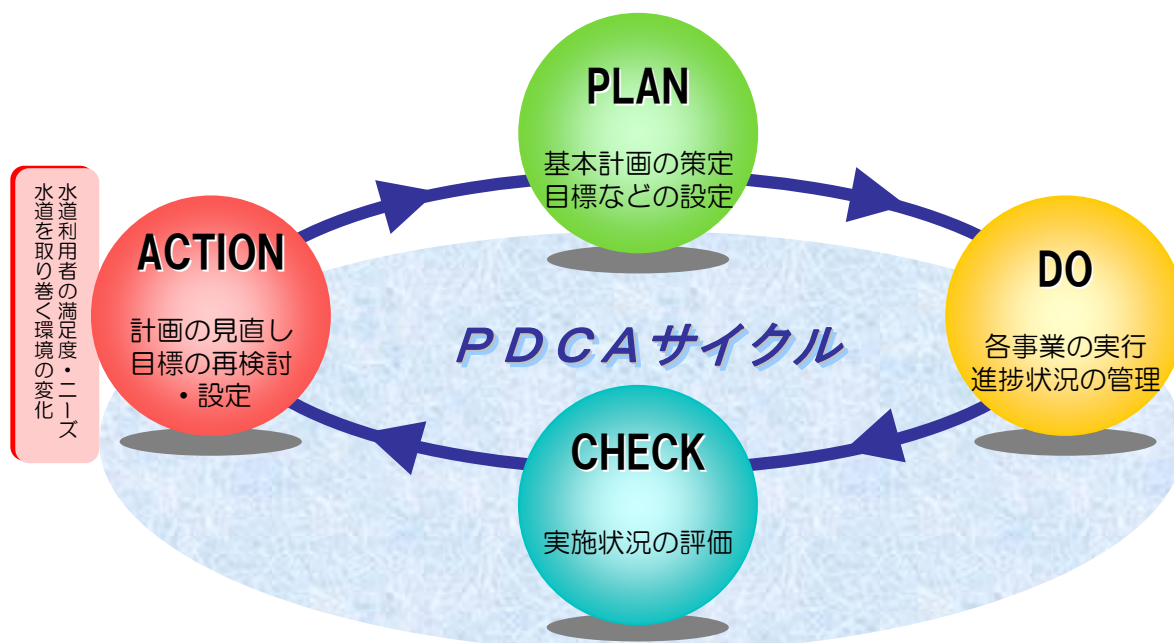


図 6.2.1 PDCA サイクル